

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第 2 年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	宮城刑務所		
事業所の名称	宮城刑務所		
事業所の所在地	宮城県仙台市若林区古城2－3－1		
主たる事業	国家公務		
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	1.環境保全活動を定期的に見直し、継続的に改善に努めます。 2.環境保全に関する法規制を遵守します。		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの 排出状況 及び削減目標 ・ 非化石エネルギー の 使用割合目標	基準年度	2022	年度	基準排出量	3,208 t-CO ₂	基準原単位	0.054	
	目標年度	2025	年度	目標排出量	3,111 t-CO ₂	目標原単位	0.053	
				削減率	3.02 %	削減率	3.09 %	
		非化石エネルギーの 使用目標割合	非化石電気	0.00 %	その他非化石 エネルギー等	100.00 %		
温室効果ガスの 排出状況	第 1 年度	2023	年度	排出量	3,309 t-CO ₂	排出原単位	0.056	
				削減率	-3.15 %	削減率	-3.16 %	
		非化石エネルギーの 使用割合	非化石電気	0.00 %	その他非化石 エネルギー等	0.00 %		
	排出量等の 増減理由	夏季は、被収容者の熱中症対策のため、エアコンを増設したことにより、電力量が増えた。冬季は、被収容者の暖房で都市ガスエネルギーのボイラーが故障して、石油ストーブで対応したことにより排出量が増えた。						
	第 2 年度	2024	年度	排出量	3,097 t-CO ₂	排出原単位	0.06	
				削減率	3.46 %	削減率	-9.95 %	
		非化石エネルギーの 使用割合	非化石電気	0.00 %	その他非化石 エネルギー等	0.00 %		
	排出量等の 増減理由	電気使用量は、夏季の熱中症対策で主にエアコンを増設したことにより基準年度と比較して10%程度増加となったものの、CO2排出量に於いては、電気事業者の契約を変更したことで排出量が基準年度より排出係数が20%減少となったことから削減率3.46%の結果となった。排出元単位については、建物の取壊しがあったことで算定値の（分母）59,099㎡から51,897㎡（約13%）減となり排出量の原単位が9.95%増加した。						
	第 3 年度	2025	年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位		
				削減率	%	削減率	%	
		非化石エネルギーの 使用割合	非化石電気	%	その他非化石 エネルギー等	%		
	排出量等の 増減理由							

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基 本 対 策 の 実 施 状 況	基準年度	96 %	目標年度	100 %
	第 1 年度	96 %	実施状況の説明等	ほとんどの項目について継続できている。
	第 2 年度	96 %	実施状況の説明等	少量ではあるがＬＥＤ照明更新を実施しているものの、予算が厳しいので大幅な更新は出来ていない状況である。
	第 3 年度	%	実施状況の説明等	

[illegible]

[illegible]